



ほさか ふじお	
保坂 富士雄	
区 分	自治体関係
居 住 地	神奈川県
所属・役職	秦野市役所 都市部 公共交通推進課長

相談方法・連絡先	
相談方法	メール及び電話
相談可能日時	随時(開庁時間8:30~17:15)
電話番号	0463-82-9644
メールアドレス	k-kotsu@city.hadano.kanagawa.jp

取組の概要
<ul style="list-style-type: none">・交通渋滞問題や交通空白地域解消のため、TDM施策による交通需要側の意識改革と乗合タクシーの導入による地域公共交通の利便性向上を図り、自家用車から公共交通への転換や地域公共交通の維持・活性化を図った。・乗合タクシーの実証運行開始に際し、地域懇談会出席の他、事業者・商店街・住民等との協議も精力的に実施し、多様な意見について調整を図り、実証運行開始後も多様な意見を反映すべく、運行計画の見直しを行うなど、持続可能な公共交通の構築に努めた。

本人の言葉
<ul style="list-style-type: none">・本市では、公共交通空白不便地域の緩和や不採算バス路線対策のために、既存バス路線の維持を図りながら、地域の実情にあった新たな地域公共交通の確保に努めていきたい。・日常生活に必要な移動手段の維持確保に努めるとともに、TDM施策を推進し、鉄道やバス等の公共交通の利便性向上と利用促進を図っていきたい。

略歴等

昭和55年4月 秦野市役所入庁 社会教育課に配属
平成17年4月～ 都市計画課 公共輸送担当主幹
平成19年4月～ 同課 交通企画班主幹
平成20年4月～ 同課 課長補佐(交通企画担当)
平成21年4月～ 同課 交通企画担当課長 兼 課長補佐(交通企画担当)
平成23年4月～ 公共交通推進課長

取組の内容、先進性・独創性

- 市内における交通渋滞問題に加え、交通空白地域や不便地域への対応のため、交通需要者側の意識改革としてTDM施策の実施、供給面から地域公共交通の利便性向上を図るべく路線固定型乗合タクシー、デマンド型乗合タクシーを導入。自家用車から公共交通への転換も図られるなどの効果を発揮している。
- TDM施策の実施にあたり、教育委員会との調整により児童へのTDM教育を導入。
- 持続可能な公共交通とするべく、事業者との契約においては事業者側の経営努力を引き出すよう考慮。

地域の活性化等への貢献度

- 商店街と乗合タクシー双方の利用促進を図るべく、乗合タクシー沿線の商店街に協力を求め、商店街のスタンプカードの景品として回数券を導入。

知識・経験・熱意、地域の取組みでの存在感

- 平成17年に公共交通担当となり、平成21年からは交通企画担当課長として、秦野市の公共交通にかかる取組を推進。
- 年16回(平成21年)の地域懇談会出席の他、事業者、商店街、住民などとの個別の協議も実施し、多様な意見を収集しつつ調整を図っている。
- 実証実験開始後においても多様な意見を反映しつつ、効率的な運行をすべく協議を進め、運行計画の見直しも実施。
収支率:26.8%(H21.4)→59.3%(H22.9)
- 自らも関係行政機関への相談、視察などにより知識を高めつつ、地域の情報を積極的に収集し、地域の実情に沿った交通政策を図っている。

先達としての活動

- 他の自治体などからの問い合わせや視察に対応。
- 神奈川県主催の「神奈川県地域交通研究会」において事例紹介を実施。(H22年)

秦野市におけるTDM施策の主な事例

①PTPS（公共車両優先システム）によるバス走行改善

秦野市内を運行する事業者はバス101台に光ビーコンと双方向通信を行う車載器を国及び本市の補助を受けて設置。



◆ 導入路線（約5.0km）

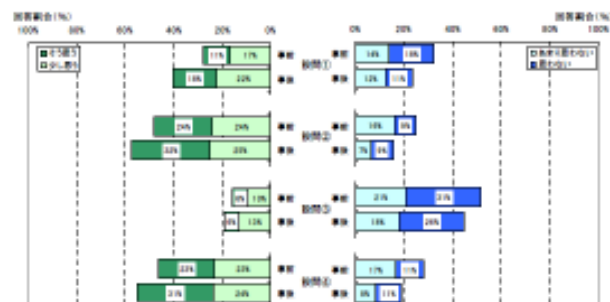
神奈川県警察本部によって「東海大学正門交差点～河原町交差点～本町四ツ角交差点～秦野橋交差点」までの区間にPTPSを感知する光ビーコンが設置され、その区間を運行している4路線が対象。

- ・ 秦野橋 → 東海大学正門……朝ピーク時：最大4分22秒の短縮
- ・ 東海大学正門 → 秦野橋……朝ピーク時：最大1分21秒の短縮

②TDM教育

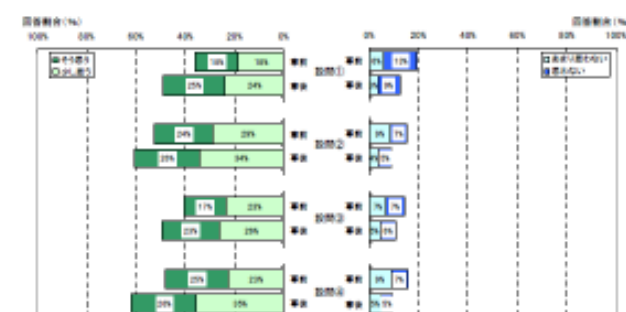
自動車をかしく利用し、車に頼りすぎず、環境に配慮した日々の移動を行うための教育。

小学校向けTDM教育は、筑波大学の谷口綾子先生を招いて、小学校5年生を対象に特別授業を平成17年度より実施。



【設問】
 ①バス、鉄道を良くするためには、クルマを控えることが必要だ
 ②まちの環境を良くするためには、クルマを控えることが必要だ
 ③まちの環境を良くするためには、バス、鉄道をもっと使うことが必要だ
 ④できるだけ、クルマの利用を控えないといけない

図 小学生の意識の変化 (主要項目)



【設問】
 ①バス、鉄道を良くするためには、クルマを控えることが必要だ
 ②まちの環境を良くするためには、クルマを控えることが必要だ
 ③まちの環境を良くするためには、バス、鉄道をもっと使うことが必要だ
 ④できるだけ、クルマの利用を控えないといけない

図 保護者の意識の変化 (主要項目)

③「ノーマイカーウィーク秦野」の実施

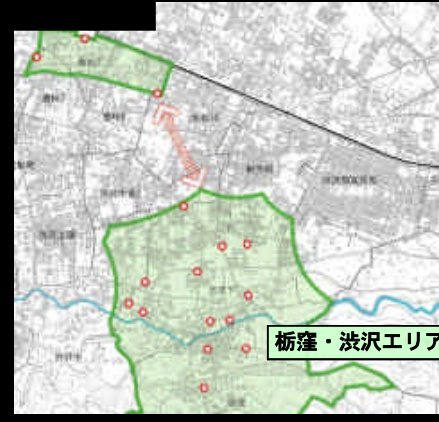
平成17年度より毎年度実施

市内の事業所や市民に協力を求め、クルマでの通勤等を控えるよう誘導し、併せて企業シャトルバス運行やレンタサイクル、サイクル&バスライドを試行。

秦野市における新たな交通体系

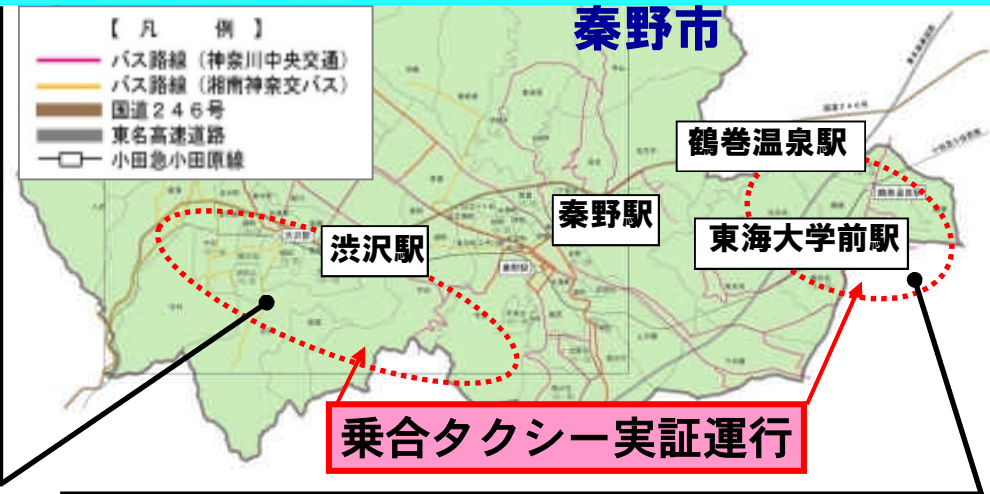
(デマンド型・路線固定型)

【デマンド型】



橋窪・洗沢エリア

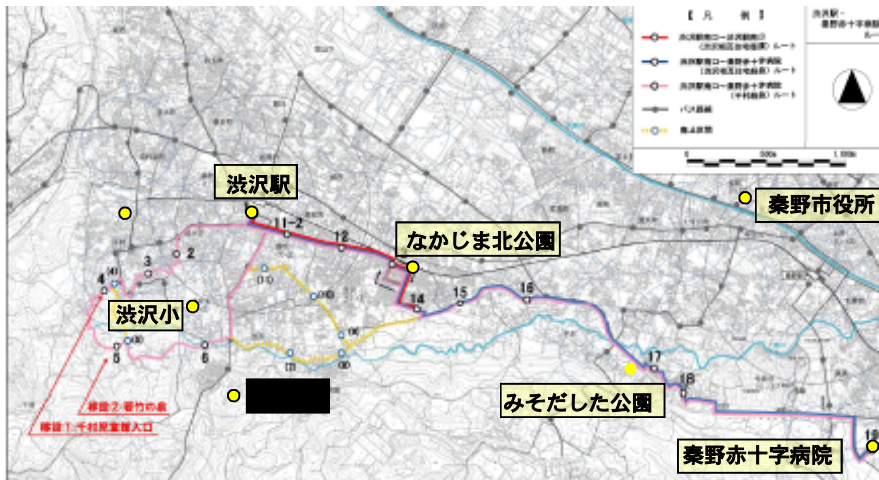
- ・運行エリア : 洗沢駅エリア
⇔ 橋窪・洗沢エリア
- ・運行主体 : 秦野市
- ・運行車両 : セダン型車両
- ・運行期間 : 平成21年11月16日
～平成22年3月31日
- ・運行時間帯 : 午前8時30分～午後5時
- ・運行回数 : 平日11便/1日
- ・運賃体系 : 350円均一
(6月から2人乗車及び1人往復乗車の
場合、割引を実施)
- ・その他 : 利用者登録が必要
事前予約が必要



乗合タクシー実証運行

■ 洗沢駅・秦野赤十字病院ルート 【路線固定型】

- ・運行ルート : 洗沢駅⇔秦野赤十字病院
- ・運行主体 : 秦野市
- ・運行車両 : 10人乗りワゴン車1台
- ・運行期間 : 平成22年4月1日～平成23年3月31日
- ・運行時間帯 : 午前7時～午後8時
- ・運行回数 : 平日42便/1日
- ・運賃体系 : 150円又は250円(6月から区間により200円、250円、300円)
- ・利用状況 : 年間28,671人
- ・収支状況 : 41.0%(平成22年3月末現在)



【路線固定型】

- ・運行ルート : 東海大学前駅⇔鶴巻温泉駅・おね台
- ・運行主体 : 秦野市
- ・運行車両 : 10人乗りワゴン車1台
- ・運行期間 : 平成22年4月1日～平成23年3月31日
- ・運行時間帯 : 午前8時30分～午後8時
- ・運行回数 : 平日25便/1日
- ・運賃体系 : 150円均一(6月から200円均一)
- ・利用状況 : 年間20,924人
- ・収支状況 : 36.4%(平成22年3月末現在)

